



震災など危機的な状況でのコメントは、男女で大きく異なっています。被災したであろう家族に、男性が電話で最初に尋ねるのは「家は大丈夫だったか？」で、女性は「みんなは大丈夫だった？」です。いずれも家人に対する心配をしているのですが、印象は全く異なるものになります。この違いを脳の情報処理の視点から解説し、臨床心理学的な立場での配慮の違いについてお話しします。

龍谷大学文学部 臨床心理学科講演会

参加無料・申込不要

# 男脳と女脳の違い

— 援助場面の配慮から —

日時 2014年 **3月23日(日)** 13:10~14:00

同時開催  
春のオープンキャンパス in 深草  
10:00-15:00  
詳細は以下で検索ください。  
Q 龍大 オープンキャンパス 検索

会場 龍谷大学深草キャンパス3号館201教室

講師 **植村 太郎 氏**

(神戸労災病院心療内科・精神科部長)  
日本精神神経学会、日本家族研究・家族療法学会、  
日本ブリーフサイコセラピー学会、  
日本トラウマティック・ストレス学会所属



主催 龍谷大学文学部

お問い合わせ

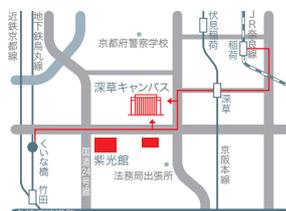
文学部教務課(大宮キャンパス)

電話：075-343-3317(平日8:45-17:15)

<http://www.let.ryukoku.ac.jp/>

深草キャンパス

〒612-8577  
京都市伏見区深草塚本町 67



- JR奈良線「稻荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
- 京阪本線「深草」駅下車、西へ徒歩約3分
- 京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約7分

